

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第7回）
開催日時	平成27年1月9日（金曜日）午後2時30分から午後3時40分
開催場所	田無庁舎 イング第3・4会議室
出席者	委員：有澤会長・宍戸副会長・佐藤（文）委員・小野寺委員・田中委員・小谷野委員・佐藤（栄）委員・可児委員・久保田委員・立川委員・横田委員 欠席：新出委員・杉原委員・森下委員・熊谷委員・早田委員 （事務局）宮坂課長・近藤係長・石部主事
議題	1 給食費の改定について 2 中学校給食の検証について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市立中学校完全給食について（意見） 2 アンケート案について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録      発言者の発言内容ごとの要点記録      会議内容の要点記録
会議内容	
<p>学校運営課長： （挨拶）</p> <p>平成26年度東京都教育委員会表彰・健康づくり功労を田無小学校が受賞した。学校の保健給食分野において、優れた功績の学校が表彰を受けるが、田無小の食育指導が該当し、健康づくり優秀学校として受賞した。受賞式は昨年11月に行なわれた。</p> <p>○事務局： ・会議成立の確認 開催時の出席委員9名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認 ・傍聴の確認 なし ・配布資料の確認 資料1と2を配付</p> <p><b>議題1 給食費の改定について</b></p> <p>○会長： 昨年10月に教育長に提出した審議会答申の内容を含めて、事務局から再度説明を求める。</p> <p>課長： 答申までの経緯を振り返りたいが、昨年1月に当審議会が教育委員会に対して、給食費に関する意見書を提出した。意見書では、改定の必要性は認めるが、26年度4月段階での改定は求めず、食材の値上がり動向やメニューの工夫により、値上げ額が最小限でとどまるよう検証を行うこととした。 この内容により、給食費の改定に関しての諮問を4月に受け、その後鋭意検証を続けたところである。また、具体的な検証は、審議会内に部会を設けた。答申内容としては、改定時期を平成27年4月とし、改定額は1食当たりの単価として小学校低学年が254円、中</p>	

学年が270円、高学年が285円、中学校が337円とした。

この答申内容を昨年10月の教育委員会に協議事項として提出し、教育委員からの質疑意見等を受けた。

主なものとして、原材料費の値上げ分を転化することなくメニューの工夫をしたことを評価するという意見。親子給食に関しては、小中学校ともに栄養士を置く中で連携を深めることを求める意見。また、各栄養士が天然素材を極力使い、旬の食材を活用した献立の工夫、地産産野菜の使用にも積極的に取り組んでいる点については、改めて評価を得た。そして、価格改定に関しては、旬の野菜を使い、その美味しさを伝えること、地産地消をも考え得ることは食育の観点から大切、その質を保つための値上がりであればやむを得ないが、一方、保護者からはこのことをすんなり受け入れるのは難しい点もあろうかと思う。そのための工夫を今後も継続し、保護者が納得し、子どもも美味しいと感じ、それがメニューからも感じ取れるものにしてほしい。そうすることで、値上りを理解してもらえるものと思う。今後の更なる工夫に期待したいというものであった。

○会長 説明に対する質疑を求める。

(「特になし」)

質疑なしと認め、議題1を終了とする。

## **議題2 中学校給食の検証について**

○会長：

事務局より議題についての説明を求める。

○課長：

中学校の完全給食は、第1期校が平成23年5月から3校、翌年の5月に第2期校6校がスタートしている。親子給食の検証は、第1期校については23年度中に行い、平成24年3月に意見書として教育委員会に報告している。検証結果を可能な限り第2期校に反映する努力を行なった。しかし、第2期校を含めた全体の検証は行なっていないため、今回検証を行ないたい。

○保健給食係長：

資料1に基づき、説明を続けたい。

この意見具申は、第2期校の給食がより良いものになるよう、課題等を含めてまとめられたもので、意見の取りまとめに当たっては「市立中学校給食開始準備検討委員会」の最終報告書、及び第1期校の生徒からのアンケート結果を検証のデータ・素材としている。

前回の検証は全11項の意見としてまとめられており、今回、意見書を作成する際にも、基本的にはこの項目を外さずに検証することが、前回との比較になると思うがいかがか。また、全校実施から2年が経過し、新たな視点での検証が必要であると思う。

次に、アンケート結果を踏まえた意見だが、第1期校の生徒からの評価は概ね良好であり、給食は美味しく、ある程度満足しているという結果であった。今回は第2期校だけでなく9校全ての生徒から感想を求め、これを資料にしてはどうかと思う。

前回の意見書は、以上2件の資料を基に作成したが、これ以外に必要な資料があれば、この後の意見調整で確認してほしい。

○会長：

説明は終わった。今回は、第2期校のみの検証ではなく、全9校を対象に実施したいということであるが、検証を行なうことに異議ないか。

(「異議なし」)

異議なしと認め、全9校を対象に中学校給食の検証を行なうこととする。

では、検証の項目として、前回の意見書で書かれている11項目の内、この際加筆・修正等の意見を伺う。

1項目ごとに確認したい。

( (1) から (10) の加除について確認)

削除するという意見はないので、継続して検証することとしたいが、そのタイトルや検証の方法については、適宜変更することとしたい。

第11項目は、前回もそのほかの意見として、10項目に含まれない内容ですぐさま改善を検討してほしい内容であった。本日も、基本になる10項目以外の意見をこの際出してほしい。

○委員：

10項目については比較対象となるので継続してほしいが、新たな項目は思いつかない。

○委員：

就学援助を受ける方に対する記述はどうか。

○会長：

未納者への危惧に対してのことと思うが、中学は前納制のため余り心配はないかと思うがどうか。

○委員：

承知した。新たに加える必要はないものと認識した。

○委員：

食器について新たに検証してほしい。現在の使用食器で第1期校と第2期校で異なるものを使っており、それをどうするのが課題である。

○委員：

第1期校と第2期校の差異は、厨房の設備にあると思う。それが要因で各校の作業工程が違っている。うまく検証の文章にまとめることは難しいと思うが、中学への配送時間やメニューにも関わる問題と思う。食器の違いであるが、これにより破損の状況が異なっている。今後の強化磁器食器の使用についても、ことによると検証の必要があるかと思う。

検証項目もさることながら、親子継続なのか、中学の単独給食を検討するのかという検討の目的によっては、その方法が異なるものと思う。

○会長：

先ほどの説明では、全校での給食がスタートして2年が経過した中での検証を求められたと思うが、ただ今の意見は、その親子給食のあり方を改めて検証することも求めるのか、ということであった。しかし本件は、この審議会において、検討を重ねた結果中学校給食は親子方式で行なうという答申を出している。したがって、今回の全9校での検証とは同列にはできないと考えられる。本日は、その点には踏み込まないで進めたいと思っている。

○委員：

第1期校と第2期校の差異があることを初めて知ったので、この点を検証することに異論はない。

○委員：

中学では牛乳を残す生徒が増えると聞くが、食育指導の時間が適宜取れているのか。給食時間が短いということが大変心配である。短いときには10分位しか食べる時間がないことがあると聞く。年間の実施回数も少なく感じる学校もあると思う。

○会長：

食育の点については、栄養士の配置の項か、あるいはその他の項目に加えていきたい。

○委員：

食缶も冷めない給食には大切な項目である。食器と同様の大切な要因と思う。

中学は50分授業のため、午前の終わりが午後0時30分を過ぎる。また、教科時間の確保の観点からも給食の終了時間は守らざるを得ない。また、食べるスピードに個人差が生じており、早く食べて他の用を済ませたい生徒もおり、なかなか全員が同じ時間内に食べ終えることが難しいこともある。授業が終わって、給食の態勢に入るのに時間がかかるケースもあり、それが給食時間に食い込んでしまう要因にもなっている。ただし、このことは、弁当の時代から言われ続けている課題だ。

牛乳についても、夏と冬とで大きな差が生じている、冬に冷たい牛乳を飲んで腹を下す生徒もおり、どうしても残りが増えてしまう。

○会長：

ただ今までに発言のあった項目について、検証事項に加えて、次回に確認していきたい。

次に、アンケートについて検討したい。第1期校については給食を食べている子どもたちにアンケート調査を行なった。このことを今回も継続したいと思うが、その内容について説明する。

○保健給食係主事：

書式の変更はあるが、質問項目は前回と比較し易いようにほぼ同様である。異なるのは、生徒の属性を問う項目である。少し細かく分析する際に必要な項目と思い付け加えた。本件についても、加筆・修正があれば意見をほしい。

○会長：

意見を求める。

○委員：

給食の量への質問だが、牛乳を残す生徒が多い中で、これについては牛乳も含めて完食した人にとって多いのか、少ないのかということになるので、そのあたりの記載を付け加えてほしい。

○委員：

「食べる時間はどうか」という質問だが、このままだと、自分の食べる時間が適当なのか、不適当なのかということに誤解が生じると思う。これは、給食時間が適当かどうかを問う項目に捉えられるように文言調整が必要だと思う。

○会長：

ただ今の意見を踏まえ、今回は、同じ内容で回答を求めないと傾向がつかめないので、提案の内容で行ないたいと思うが、どうか。

(「異議なし」)

それでは、案文をベースにしてアンケートを行ってほしい。

### **議題3 その他**

○会長：

その他の項目はないか。

○保健給食係長：

次回の日程について提案がある。

これまで、次回の日程に関しては確認していなかったが、次回の日程について提案をするので、各位日程調整をお願いします。

アンケート結果の報告を考えると1か月程度の猶予がほしい、その上で会議室や他の公務との関係から2月16日の午前10時30分であれば、田無小のランチルームで行なうことが可能という提案だ。また、給食を審議する会であるが、給食を実際に食べていない。この日程であれば可能である。

○会長：

2点確認したい。

1点目は本日出た意見を踏まえた次回の資料作りやアンケートについては、この後は正副会長に一任してほしい。

2点目は日程についてだが、いろいろと忙しい時期ではあると思うが、調整をお願いしたい。また、審議委員が一度は中学校給食を食べて参考にしたいと思い、体験の機会を設けたい。

本日の会議は散会とする。

以上